

神に赦されて人を赦す

マタイによる福音書一八章21〜35節

不届き者。お前が頼んだから、借金を全部帳消しにしてやったのだ。私がお前を憐れんでやったように、お前も仲間を憐れんでやるべきではなかったか。(32、33)

王に一万タラントン(約20万年分の労働賃金)という莫大な借金をしていた僕が、王の憐れみによりその全額を帳消しにしてもらいました。ところがその直後、百デナリオン(約4ヶ月分の賃金)を自分が貸していた友人に出会ったとき、彼を赦すことなく牢屋に入れてしまいます。この様子を聞いた王が、再び僕を呼んで言ったのが今日の御言葉です。自分がどれだけ大きな負債を赦してもらったかを忘れたのか?というのです。この僕は、王に赦された感謝と喜びを完全に失っていたのです。私たちの生活においても、人を赦すことはとても難しいことです。だからこそ、私たちが神によってどんなに大きな罪を赦していただいたかを深く心に刻むことが鍵となります。人を赦す者となるためにも、まず私たち自身が大きな罪を神に赦していただいたその恵みを受け止めようではありませんか。